

2021年8月30日
(午後5時現在)
美須賀海運株式会社

当社管理船 座礁事故の件 (第7報)

8月11日(水) 八戸港外において、当社がMI-DAS LINE S.A.社(洞雲汽船株式会社の関連会社、以下「船主」)から船舶管理を請け負っております木材チップ専用船 CRIMSON POLARIS(クリムゾン・ポラリス、以下「本船」)が座礁し、船体の分断、油の流出が発生した件で、近隣住民の皆様、漁業関係者の皆様、その他関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますこと改めて深くお詫び申し上げます。

当社管理船 座礁事故(第6報)の通り、本日(8月30日 午前10時30分)より油回収貯蔵タンカーによる船体船首部の残存油抜き取り作業を開始しましたのでご報告致します。

本日は海水を含む残存油 約177KLの回収を完了致しました。

残存油のタンク総量(約2,400KL)に対して、日量約200KLのペースでの回収を計画しており、9月10日までの完了を目指しております。

尚、本船内に残る貨物の揚げ荷のための準備作業を開始致しました。船体撤去に向けた検討及び準備作業を引き続き進めてまいります。

今後の進捗状況については適宜ご報告をさせていただきます。

引き続き、海上保安庁をはじめ船主及び各関係者と協力して、被害の最小化と早期の事態解決に向けて全力で取り組んでまいります。

以上